



令和元年 11 月 22 日

茨木市長 福岡 洋一 様

茨木市総合計画審議会
会長 久 隆 浩

茨木市総合計画について（答申）

令和元年 8 月 7 日付け茨企第 504 号で諮問のありました茨木市総合計画後期基本計画（案）について、下記の意見を付して、別添のとおり答申いたします。

後期基本計画は、10 年間の基本構想に基づくものであることから、当基本計画の審議において、前期基本計画を継承しつつ社会情勢の変化を的確に捉えることを主眼に、6 回にわたる審議会やパブリックコメント制度における幅広い市民等の意見を踏まえ、活発かつ慎重に議論を重ねて取りまとめたものであり、今後の計画策定にあたっては十分尊重されることを求めます。

記

本基本計画の推進にあたっては、持続可能な社会の実現を掲げる SDG s の達成を視野に据えつつ、多様な主体の適切な役割分担に留意しながら、施策別計画に基づく各施策・取組を着実に推進するとともに、昨年の災害の経験を踏まえた安全・安心なまちづくりと、本市のさらなる発展に向けた市民会館跡地エリア活用や安威川ダム周辺整備等をいかした取組を進め、基本構想に掲げる「活力」と「つながり」のあるまちづくりが推進されることを期待します。

また、当審議会では、専門的な知見からの提言や当事者目線での問題提起など、様々な立場から多様な意見を申し述べています。事業実施にあたっては、それらを十分に配慮するとともに、市民、自治会等の各種団体、事業者等の多様な主体の声をしっかりと受け止め、事業に反映することを求めます。

加えて、総合計画の着実な推進に向け、実施計画や施策評価における市民との共有をさらに進めるとともに、施策別計画に分野別計画の進捗状況等を有効に反映する取組について、整理されることを期待します。

以 上